【事業区間の概要】

一般国道４９号は、福島県いわき市を起点として新潟県新潟市までの約２４０ｋｍの道路で、磐越自動車道と並行する路線として高規格道へのアクセス、代替路線機能を果たし、産業・経済・文化の交流を支える主要幹線道路であります。

このうち、現在の三和トンネルは、幅員が狭小であるためISO背高海上コンテナの通行障害や、老朽化、事故多発等の問題を抱えており、これらを解消し、主要幹線道路としての機能強化を図り、周辺開発促進、物流支援のために、平成１６年度に、福島県いわき市三和町渡戸～福島県いわき市三和町中寺へと至る延長１．７ｋｍの三和トンネル事業として着手しました。

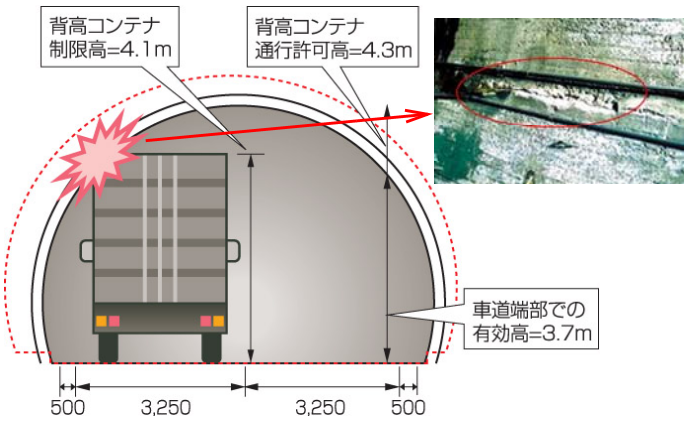
このたびは、延長７４３ｍの新しい三和トンネルに工事着手したことから、***起工式***を開催することとなりました。

本トンネルが完成することにより、小名浜港～福島県中通り地方への物流支援、交通事故の減少等、安全・安心な通行の確保を図るとともに、主要幹線道路としての機能強化および信頼度が向上されることが期待されます。

●現三和トンネルの状況



●通行障害概要図・損傷状況



※ ISO 背高海上コンテナ→コンテナ高さ9フィート6インチ、地上高約4．1mの国際規格の海上コンテナ

【 事 業 箇 所 平 面 図 】



（１）事業概要

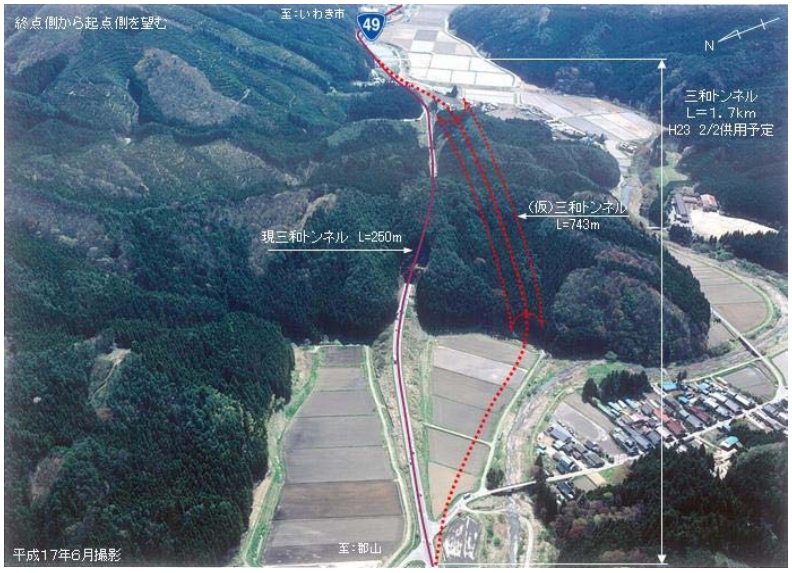
・事業区間：福島県いわき市三和町渡戸（みわまちわたど）　～
　　福島県いわき市三和町中寺（みわなかでら）　地内

・延　　長：１，７００ｍ*（うちトンネル延長７４３ｍ）*

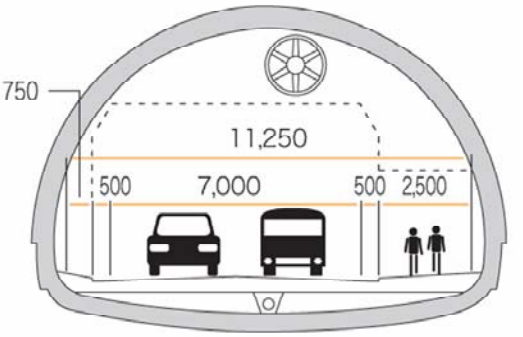
・設計速度：６０ｋｍ／ｈ

・幅員構成：１２．５　ｍ（1.5-2@3.5-1.5-2.5）　一般部
　　１１．２５ｍ（0.75-0.5-2@3.5-0.5-2.5）　トンネル部

【終点側航空写真】



【トンネル部標準断面】



【完成予想図】



（２）事業経緯

・平成１６年度　　事業着手
・平成１８年度　　用地着手
・平成１８年度　　工事着手
・平成１９年度　　トンネル着手
・平成２３年度（予定）　供用予定

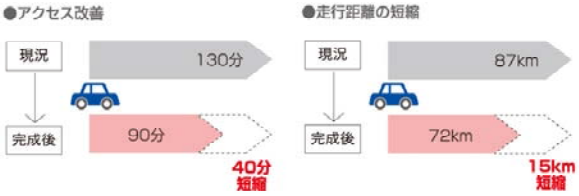
【三和トンネル事業の整備効果】

三和トンネルの整備効果

●所要時間、走行距離の短縮による物流の効率化

小名浜港から郡山貨物ターミナル等への背高コンテナ車が一般国道49号を利用できるようになると、現在ルートである「(主)いわき石川線と一般国道118号を利用するルート」よりも所要時間が130分から90分に、走行距離が87kmから72kmに短縮されます。

また、一般国道49号を通行することにより、冬期における通行支障箇所を避けることができ、交通の確実性が向上します。



●交通事故の減少

現在の三和トンネルの前後区間における勾配と比較して、約半分の勾配（現在i=5.0%、計画i=2.5%）に改善されるため、下り坂の自動車の速度超過が緩和され、追突事故と車両単独事故の減少が期待されます。